

## 福島医科大学 平成30年度前期講義

科目・コース（ユニット）名：放射線生命医療学【医学3】  
（英語名称） Radiation Life Science and Medicine

担当責任者： 大津留 晶、坂井 晃、長谷川 有史

開講年次： 2018 年度（平成 30 年度） 開講学期： 前期必修／選択： 必修 授業形態： 講義  
概要／方針等：

- (1) 放射線の光と影～放射線の利用と原子力災害の歴史～
- (2) 放射性生物学の基礎と放射線細胞障害機序
- (3) 放射線被ばくの人体への影響
- (4) 線量測定と線量評価
- (5) 被ばく医療と放射線災害医療～福島第一原発事故～
- (6) 放射線とがん～発がん分子機構～
- (7) 白血病と甲状腺がん
- (8) 災害とメンタルヘルス
- (9) リスク学とリスクコミュニケーション
- (10) 放射線災害と科学・技術・社会学習目標：

授業計画／担当教員等：

	月	日	曜日	時限	テーマ	担当教員（所属講座）
1)	4	6	金	I	序論～放射線災害の歴史～	大津留 晶（放射線健康管理学）
2)	4	13	金	I	東日本大震災と福島第一原発事故	長谷川有史（放射線災害医療学）
3)	4	20	金	I	原子力災害：私たちに課せられた宿題	谷川攻一（副学長）
4)	4	27	金	I	放射線の種類、単位、性質	石川徹夫（放射線物理化学）
5)	5	11	金	I	放射線障害と DNA 修復	津山尚宏（放射線生命科学）
6)	5	18	金	I	放射線の人体影響	津山尚宏（放射線生命科学）
7)	5	25	金	I	放射線と染色体異常	吉田光明（弘前大学）
8)	6	1	金	I	原子力災害をめぐる法的課題	藤野美都子（人間科学）
9)	6	7	木	IV	リスク学（1）	村上道夫（健康リスクコミュニケーション学）
10)	6	7	木	V	リスク学（2）	村上道夫（健康リスクコミュニケーション学）
11)	6	8	金	I	電離放射線と血液腫瘍	坂井晃（放射線生命科学）
12)	6	14	木	IV	原子力災害：病院避難の功罪	重富秀一（双葉厚生病院）
13)	6	14	木	V	原子力災害：最前線病院の現実	及川友好（南相馬市立病院）
14)	6	15	金	I	災害後の福島の実状と健康問題	熊谷敦史（放射線健康管理学）
15)	6	15	金	VI	放射線災害とメンタルヘルス	前田正治（災害こころの医学）
16)	6	21	木	IV	がんの生物学と放射線	大津留 晶（放射線健康管理学）
17)	6	21	木	V	チェルノブイリ小児甲状腺癌	Vladimir Saenko（長崎大学）
18)	6	29	金	I	甲状腺検査と甲状腺疾患	緑川早苗（放射線健康管理学）
19)	7	6	金	I	がんスクリーニングについて	緑川早苗（放射線健康管理学）
20)	7	13	金	VI	全体のまとめ	大津留 晶（放射線健康管理学）